

国民森林会議

2017 年度第 4 回公開講座の開催について

テーマ： 林野補助金問題を考える

日時： 2017 年 12 月 9 日（土） 午後 1 時半～午後 4 時半

場所： 林野会館 6F 604 号室
(〒112-0012 東京都文京区大塚 3 丁目 28 番 7 号 03-3945-6871)

講演 1： 現場から見た林野補助金制度の現状と今後のあるべき姿
上山和豊氏（日田郡森林組合理事、（株）トライウッド元専務取締役）

講演 2： 林野補助金制度の問題点と改革方向
速水亨氏（速水林業代表、（株）森林再生システム代表取締役）

趣旨：

森林・林業・林産業・山村の各局面において、国からの補助金の持つ意味・意義はかつてから大きなものだったが、近年、そのウェイト・影響力はさらに巨大なものになりつつある。さまざまな現場では、「補助金がつくか、つかないか」で多くの事業の実施・不実施は仕分けされる。長年にわたる木材低価格容認政策の結果、森林所有者、森林経営者、林業経営者は、自立した経営主体としての意欲・経営力だけでなく誇りをも徹底してそがれてしまった。その結果、主体の自立を下から支えるという補助金の本来の在り方とは異なって、「補助金が現場のすべてを支配する」といった転倒した状況が生み出されてきているのである。

当会議では、平成 27 年度政策提言「近年の間伐を考える」において、全国各地で問題となっている「荒い間伐」について、その原因が間伐補助制度の変更にあることを明らかにしつつ、その問題点及び解決の方向を提示したところである。ただし、事実関係の把握を含め、深い分析に達しなかったところに反省点が残る。

そこで、今回の公開講座では、林野補助金問題についてさらに広く、深く検討するために、お二人の講師をお招きして、ご講演をいただく。上山和豊氏には、長年の森林組合や第三セクター会社経営の経験を基に、現場からみた補助金問題を論じていただき、速水亨氏には、補助金問題を俯瞰的かつ批判的に論じていただく。その後、参会者のみなさんとともに、提起されたさまざまな論点について時間の許す限り議論を深めていきたいと考えている。なお、ここでの議論の成果は本会の今年度政策提言にも生かしていく予定である。この問題に関心のある多数の方々のご参加をお願いしたい。

参加申し込みは、国民森林会議事務局・松本佳子宛にお願いします。

連絡先： メール matsumoto@sinrin.or.jp
fax 03-3519-5984